

立命館大学 中国文学・思想専攻 2022カレンダー

- 陰暦・月齢・干支つき
- 中国文学・思想専攻キャラクター「てこちゃん」の写真と詩つき

※参考文献

石川忠久編著『漢魏六朝の詩』(上・下)明治書院、平成21年



©立命館大学中国文学・思想専攻
<http://www.ritsumeai.ac.jp/lt/cl/>



2022 睦月



©立命館大学中国文学・思想専攻 <http://www.ritsume.ac.jp/lt/cl/>

春に入りて纔(わす)かに七日 家を離れて已(すで)に二年 人の歸るのは雁の後に落ち 思ひの發するは花の前に在り
(薛道衡「人日思歸」)

【現代語訳】春正月 早くも七日経った 家を離れてすでに二年も経った 人が故郷の家に帰るのは春に北に帰る雁よりも後 帰りたい思いは春の花が咲くよりも前にわき起こる

日	巳	丑	辰	未	申	酉	戌
							1 旧11/29 甲寅
2 旧11/30 乙卯	3 旧12/1 丙辰 新月	4 旧12/2 丁巳	5 旧12/3 戊午 小寒	6 旧12/4 己未	7 旧12/5 庚申	8 旧12/6 辛酉	
9 旧12/7 壬戌	10 旧12/8 癸亥 成人の日 上弦	11 旧12/9 甲子	12 旧12/10 乙丑	13 旧12/11 丙寅	14 旧12/12 丁卯	15 旧12/13 戊辰	
16 旧12/14 己巳	17 旧12/15 庚午 冬至用入	18 旧12/16 辛未 満月	19 旧12/17 壬申	20 旧12/18 癸酉 大寒	21 旧12/19 甲戌	22 旧12/20 乙亥	
23 旧12/21 丙子	24 旧12/22 丁丑	25 旧12/23 戊寅 下弦	26 旧12/24 己卯	27 旧12/25 庚辰	28 旧12/26 辛巳	29 旧12/27 壬午	
30 旧12/28 癸未	31 旧12/29 甲申						



巴東三峽 巫峽長し
 猿鳴いて三聲涙裳を露す
 巴東三峽 猿鳴くこと悲し
 猿鳴いて三聲涙衣を露す（無名氏「巴東三峽」二首）

巴東三峽 巫峽長し 猿鳴いて三聲涙裳を露す
 巴東三峽 猿鳴くこと悲し 猿鳴いて三聲涙衣を露す（無名氏「巴東三峽」二首）

【現代語訳】巴東の三峽の中では巫峽がとりわけ長い 猿が三たびつづけて鳴けば人々は涙で裳をぬらす
 巴東の三峽は猿の鳴き声が悲しげなところ 猿が三たびつづけて鳴けば人々は涙で衣をぬらす

日	巴	朧	祀	峯	窟	虫
		1 旧1/1乙酉 旧正月 新月	2 旧1/2丙戌	3 旧1/3丁亥 節分	4 旧1/4戊子 立春	5 旧1/5己丑
6 旧1/6庚寅	7 旧1/7辛卯	8 旧1/8壬辰 上弦	9 旧1/9癸巳	10 旧1/10甲午	11 旧1/11乙未 建国記念日	12 旧1/12丙申
13 旧1/13丁酉	14 旧1/14戊戌	15 旧1/15己亥 元宵	16 旧1/16庚子	17 旧1/17辛丑 満月	18 旧1/18壬寅	19 旧1/19癸卯 雨水
20 旧1/20甲辰	21 旧1/21乙巳	22 旧1/22丙午	23 旧1/23丁未 天皇誕生日	24 旧1/24戊申 下弦	25 旧1/25己酉	26 旧1/26庚戌
27 旧1/27辛亥	28 旧1/28壬子					



音落黄埃中
車馬不相識
柳青桃復紅
青陽二三月

青陽 二三月 柳青くして桃復た紅なり 車馬 相識らず 音は黄埃(こうあい)の中に落つ (謝尚「大道曲」)

【現代語訳】春の盛りの二月三月のころ 柳は青々とし桃の花も紅色 車馬の往来は多いが 互いに誰の車かはしらない 車馬の響きだけが黄色いほこりの中に落ちてゆく

巳	午	未	申	酉	戌	亥
		1 旧1/29 癸丑	2 旧1/30 甲寅	3 旧2/1 乙卯 新月	4 旧2/2 丙辰	5 旧2/3 丁巳 啓蟄
6 旧2/4 戊午	7 旧2/5 己未	8 旧2/6 庚申	9 旧2/7 辛酉	10 旧2/8 壬戌 上弦	11 旧2/9 癸亥	12 旧2/10 甲子
13 旧2/11 乙丑	14 旧2/12 丙寅	15 旧2/13 丁卯	16 旧2/14 戊辰 春社	17 旧2/15 己巳	18 旧2/16 庚午 満月	19 旧2/17 辛未
20 旧2/18 壬申	21 旧2/19 癸酉 春分	22 旧2/20 甲戌	23 旧2/21 乙亥	24 旧2/22 丙子	25 旧2/23 丁丑 下弦	26 旧2/24 戊寅
27 旧2/25 己卯	28 旧2/26 庚辰	29 旧2/27 辛巳	30 旧2/28 壬午	31 旧2/29 癸未		

春林花多媚
春鳥意多哀
春風復多情
吹我羅裳開



©立命館大学中国文学・思想専攻 <http://www.ritsumeai.ac.jp/lt/cl/>

春林花媚多く 春鳥意哀しみ多し 春風復た情多く 我が羅裳を吹いて開く（無名氏「子夜四時歌 春歌」）

【現代語訳】春の林には花が咲きほこり 春の鳥は切なげに鳴く 春風も思わせぶりに 私の絹のスカート吹き上げた

☐	巳	丑	辰	未	申	酉	戌
						1 旧3/1 甲申 新月	2 旧3/2 乙酉
3 旧3/3 丙戌	4 旧3/4 丁亥	5 旧3/5 戊子 清明	6 旧3/6 己丑	7 旧3/7 庚寅	8 旧3/8 辛卯	9 旧3/9 壬辰 上弦	
10 旧3/10 癸巳	11 旧3/11 甲午	12 旧3/12 乙未	13 旧3/13 丙申	14 旧3/14 丁酉	15 旧3/15 戊戌	16 旧3/16 己亥	
17 旧3/17 庚子 満月	18 旧3/18 辛丑	19 旧3/19 壬寅	20 旧3/20 癸卯 穀雨	21 旧3/21 甲辰	22 旧3/22 乙巳	23 旧3/23 丙午 下弦	
24 旧3/24 丁未	25 旧3/25 戊申	26 旧3/26 己酉	27 旧3/27 庚戌	28 旧3/28 辛亥	29 旧3/29 壬子 昭和の日	30 旧3/30 癸丑	



藁砧今何在
山上復有山
何當大刀頭
破鏡飛上天

©立命館大学中国文学専攻 <http://www.ritsumeai.ac.jp/lt/cl/>

藁砧(こうちん) 今何(いつく)にか在る 山上復た山有り 何れか當(まさ)に大刀の頭なるべき 破鏡(はきょう) 飛んで天に上る
(無名氏「古絶句」其一)

【現代語訳】あの人(※「藁砧」はわら打ち台。「砧」は「碇」と同じ意味で、「碇」と「夫」が同音であることから「夫」の隠語)は今頃どこにいるのかしら いつも出かけてそれっきり(※山の上に山→「出」) 帰ってくるのはいつのこと(※刀の頭にある環=「還」とかけている) きっと月も半ば過ぎだろう(※「破鏡」は月が欠けることで十六夜以降を指す)

日	巳	丑	辰	未	申	酉
1 旧4/1 甲寅 新月	2 旧4/2 乙卯 八十八夜	3 旧4/3 丙辰 憲法記念日	4 旧4/4 丁巳 みどりの日	5 旧4/5 戊午 こどもの日 立夏	6 旧4/6 己未	7 旧4/7 庚申
8 旧4/8 辛酉	9 旧4/9 壬戌 上弦	10 旧4/10 癸亥	11 旧4/11 甲子	12 旧4/12 乙丑	13 旧4/13 丙寅	14 旧4/14 丁卯
15 旧4/15 戊辰	16 旧4/16 己巳 満月	17 旧4/17 庚午	18 旧4/18 辛未	19 旧4/19 壬申	20 旧4/20 癸酉	21 旧4/21 甲戌 小満
22 旧4/22 乙亥	23 旧4/23 丙子 下弦	24 旧4/24 丁丑	25 旧4/25 戊寅	26 旧4/26 己卯	27 旧4/27 庚辰	28 旧4/29 辛巳
29 旧4/29 壬午	30 旧5/1 癸未 新月	31 旧5/2 甲申				



2022 水無月

天地合 乃敢與君絶
 冬雷震震 夏雨雪
 山無陵 江水爲竭
 長命無絶衰
 上邪 我欲與君相知



©立命館大学中国文学・思想専攻 <http://www.ritsumei.ac.jp/lt/cl/>

上や 我 君と相知り 長命絶衰衰ふること無からんと欲す 山に陵(おか)無くして 江水爲に竭き 冬雷震震として 夏に雪雨り 天地合して 乃ち敢へて君と絶たん(無名氏「上邪」)

【現代語訳】天よ！私はこの君と愛し合い 命ある限り別れないと誓う 山に丘陵が無くなり 江に水が無くなり 冬に雷が鳴り 夏に雪が降り 天と地が一つに合わさるといふ天変地異でも起きたなら その時はこの君と別れよう

巳	巳	午	未	申	酉	戌
			1 旧5/3 乙酉	2 旧5/4 丙戌	3 旧5/5 丁亥	4 旧5/6 戊子
5 旧5/7 己丑	6 旧5/8 庚寅 芒種	7 旧5/9 辛卯 上弦	8 旧5/10 壬辰	9 旧5/11 癸巳	10 旧5/12 甲午	11 旧5/13 乙未 入梅
12 旧5/14 丙申	13 旧5/15 丁酉	14 旧5/16 戊戌 満月	15 旧5/17 己亥	16 旧5/18 庚子	17 旧5/19 辛丑	18 旧5/20 壬寅
19 旧5/21 癸卯	20 旧5/22 甲辰	21 旧5/23 乙巳 夏至 下弦	22 旧5/24 丙午	23 旧5/25 丁未	24 旧5/26 戊申	25 旧5/27 己酉
26 旧5/28 庚戌	27 旧5/29 辛亥	28 旧5/30 壬子	29 旧6/1 癸丑 新月	30 旧6/2 甲寅		



迢迢牽牛星 皎皎河漢女 織織擢素手 札札弄機杼 終日不成章 泣涕零如雨 河漢清且淺 相去復幾許 盈盈一水間 脈脈不得語

迢迢(ちょうちょう)たり牽牛星 皎皎(きょうきょう)たり河漢の女 織織(せんせん)として素手を擢(か)げ 札札(しつしつ)として機杼(きちよ)を弄す 終日(しゅうじつ)章(あや)を成さず 泣涕(きゅうてい)の零(お)つること雨の如し 河漢 清く且つ淺し 相去ること復た幾許(いくばく)ぞ 盈盈(えいせい)たる一水の間 脈脈(みくみく)として語るを得ず(無名氏「古詩十九首」其十)

【現代語訳】はるか遠くの彦星 白く輝く織姫星 ほっそりとした白い手をあげ さっさと機を織る 一日織ってもあや模様はできず あふれる涙はとめどもない 天の川は清らかでしかも浅く 二人を隔てている距離はいくらもないのに 満々とたたえた川に隔てられ じつと見つめても話もできない

☐	巳	丑	辰	未	申	酉
						1 旧6/3 乙卯 2 旧6/4 丙辰 半夏生
3 旧6/5 丁巳	4 旧6/6 戊午	5 旧6/7 己未	6 旧6/8 庚申	7 旧6/9 辛酉 小暑 上弦	8 旧6/10 壬戌	9 旧6/11 癸亥
10 旧6/12 甲子	11 旧6/13 乙丑	12 旧6/14 丙寅	13 旧6/15 丁卯	14 旧6/16 戊辰 満月	15 旧6/17 己巳	16 旧6/18 庚午
17 旧6/19 辛未	18 旧6/20 壬申 海の日	19 旧6/21 癸酉	20 旧6/22 甲戌 下弦	21 旧6/23 乙亥	22 旧6/24 丙子	23 旧6/25 丁丑 大暑
24 旧6/26 戊寅	25 旧6/27 己卯	26 旧6/28 庚辰	27 旧6/29 辛巳	28 旧6/30 壬午	29 旧7/1 癸未 新月	30 旧7/2 甲申
31 旧7/3 乙酉						



2022 葉月



夕殿下珠簾
 流螢飛復息
 長夜縫羅衣
 思君此何極

©立命館大学中国文学・思想専攻 <http://www.ritsume.ac.jp/lt/cl/>

夕殿 珠簾を下ろし 流螢 飛んで復た息ふ 長夜 羅衣を縫ふ 君を思ふこと此に何ぞ極まらん（謝朓「玉階怨」）

【現代語訳】夕暮れの宮殿の中 真珠で飾った御簾を下ろす 螢が一匹二匹すうっと飛び来ては物に止まって憩う 秋の夜長に一人薄絹の着物を縫って過ごすばかり あなたを思う切なさは極まることがない

☐	巳	午	未	申	酉	戌
	1 旧7/4 丙戌 	2 旧7/5 丁亥 	3 旧7/6 戊子 	4 旧7/7 己丑 	5 旧7/8 庚寅 上弦 	6 旧7/9 辛卯
7 旧7/10 壬辰 立秋 	8 旧7/11 癸巳 	9 旧7/12 甲午 	10 旧7/13 乙未 	11 旧7/14 丙申 山の日 	12 旧7/15 丁酉 満月 	13 旧7/16 戊戌
14 旧7/17 己亥 	15 旧7/18 庚子 	16 旧7/19 辛丑 	17 旧7/20 壬寅 	18 旧7/21 癸卯 	19 旧7/22 甲辰 下弦 	20 旧7/23 乙巳
21 旧7/24 丙午 	22 旧7/25 丁未 	23 旧7/26 戊申 処暑 	24 旧7/27 己酉 	25 旧7/28 庚戌 	26 旧7/29 辛亥 	27 旧8/1 壬子 新月
28 旧8/2 癸丑 	29 旧8/3 甲寅 	30 旧8/4 乙卯 	31 旧8/5 丙辰 			

寄情千里光
仰頭看明月
羅帳起飄颺
秋風入窗裏



©立命館大学中国文学・思想専攻 <http://www.ritsumei.ac.jp/lt/cl/>

秋風 窗裏に入り 羅帳起ちて飄颺(ひょうよう)す 頭を上げて明月を看 情を千里の光に寄す (無名氏「子夜四時歌」秋歌)

【現代語訳】秋風が窓の中に吹き込んで うす絹のとばりが風にあおられている 頭をあげて明月を看て はるか千里も遠い所を照らす 月光に心を託す

日	月	水	木	金	土	日
				1 旧8/6 丁巳	2 旧8/7 戊午	3 旧8/8 己未
4 旧8/9 庚申 上弦	5 旧8/10 辛酉	6 旧8/11 壬戌	7 旧8/12 癸亥	8 旧8/13 甲子 白露	9 旧8/14 乙丑	10 旧8/15 丙寅 中秋 満月
11 旧8/16 丁卯	12 旧8/17 戊辰	13 旧8/18 己巳	14 旧8/19 庚午	15 旧8/20 辛未	16 旧8/21 壬申	17 旧8/22 癸酉
18 旧8/23 甲戌 下弦	19 旧8/24 乙亥 敬老の日	20 旧8/25 丙子	21 旧8/26 丁丑	22 旧8/27 戊寅 秋社	23 旧8/28 己卯 秋分	24 旧8/29 庚辰
25 旧8/30 辛巳	26 旧9/1 壬午 新月	27 旧9/2 癸未	28 旧9/3 甲申	29 旧9/4 乙酉	30 旧9/5 丙戌	



瀉水置平地 各自東西南北流
 人生亦有命 安能行嘆復坐愁
 酌酒以自寬 舉杯斷絕歌路難
 心非木石豈無感 吞聲躑躅不敢言



©立命館大学中国文学・思想専攻 <http://www.ritsumei.ac.jp/lt/c/>

水を瀉(そそいで)平地に置けば 各自に東西南北に流る 人生にも亦(また)命有り 安くんぞ能く行きては嘆じ復た坐しては愁へん 酒を酌んで以て自ら寛(ゆる)うし 杯を舉げて断絶して路難を歌ふ 心木石に非ずして豈に感無からんや 聲に吞んで躑躅(てきちよく)して敢へて言はず (鮑照「擬行路難十八首」其四)

【現代語訳】水を平地にそそぐと 水は各々東西南北に流れる 人生もまた人それぞれの運命がある どうして行つては嘆き 座しては愁えていられようか 酒を酌み自分自身を気楽にし 杯をあげて声も絶えんばかりに「行路難」を歌う 人の心は木や石ではないのだから 感情が高ぶらないはずはない でもぐっと声を呑み込み足踏みして 悲しみを敢えて言わないのだ

☐	巳	丑	辰	未	申	酉
						1 旧9/6 丁亥
2 旧9/7 戊子	3 旧9/8 己丑 上弦	4 旧9/9 庚寅	5 旧9/10 辛卯	6 旧9/11 壬辰	7 旧9/12 癸巳	8 旧9/13 甲午 寒露 十三夜
9 旧9/14 乙未	10 旧9/15 丙申 スポーツの日 満月	11 旧9/16 丁酉	12 旧9/17 戊戌	13 旧9/18 己亥	14 旧9/19 庚子	15 旧9/20 辛丑
16 旧9/21 壬寅	17 旧9/22 癸卯 下弦	18 旧9/23 甲辰	19 旧9/24 乙巳	20 旧9/25 丙午	21 旧9/26 丁未	22 旧9/27 戊申
23 旧9/28 己酉 霜降	24 旧9/29 庚戌	25 旧10/1 辛亥 新月	26 旧10/2 壬子	27 旧10/3 癸丑	28 旧10/4 甲寅	29 旧10/5 乙卯
30 旧10/6 丙辰	31 旧10/7 丁巳					

憂 徘徊 翔 孤 清 薄 起 夜
 思 徊 鳥 鴻 風 帷 坐 中
 獨 將 鳴 號 吹 鑒 彈 不
 傷 何 北 外 我 明 鳴 能
 心 見 林 野 襟 月 琴 寐



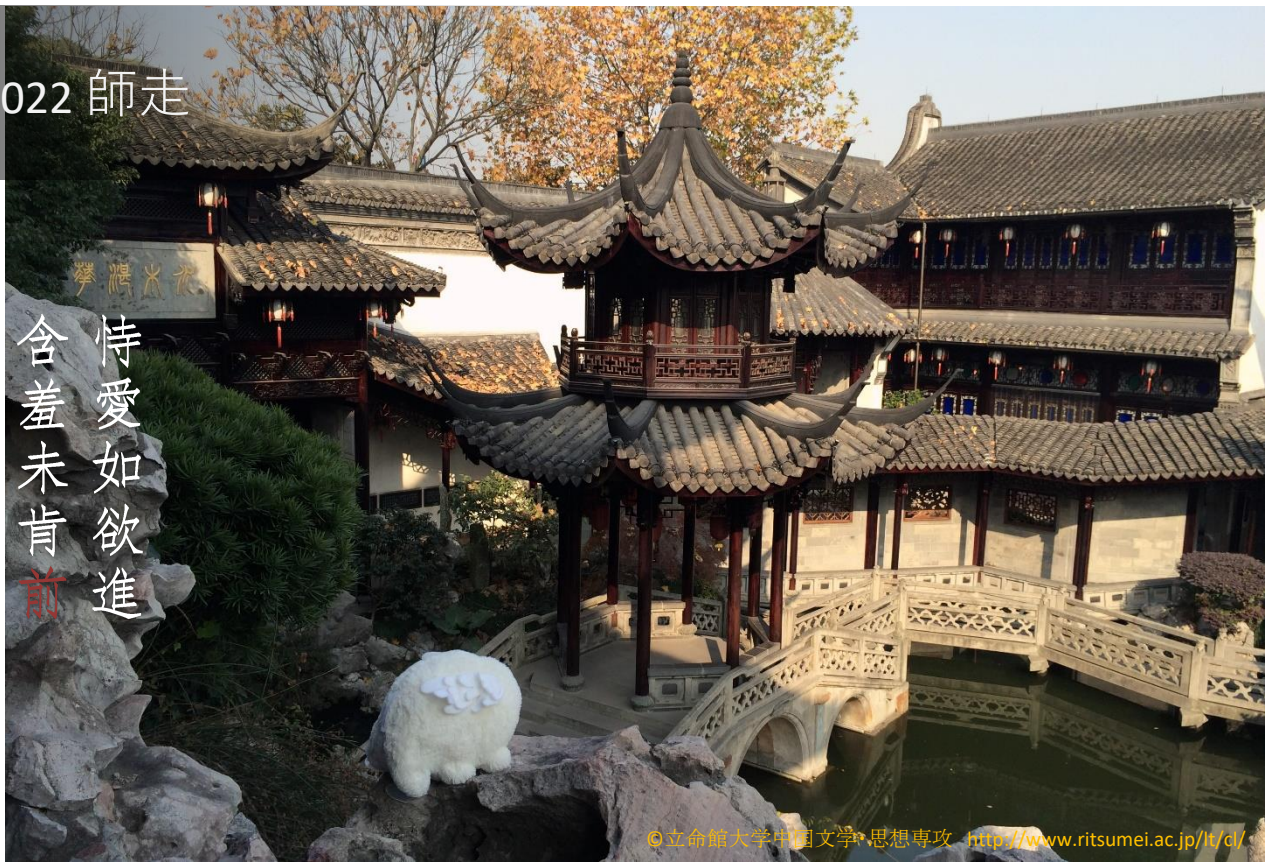
©立命館大学中国文学・思想専攻 <http://www.ritsumei.ac.jp/lt/cl/>

夜中 寐(い)ぬる能はず 起坐して鳴琴を弾す 薄帷に明月鑒(て)り 清風 我が襟を吹く 孤鴻 外野に號(さ)げび 翔鳥 北林に鳴く 徘徊して將(は)た何をか見る 憂思して獨り心を傷ましむ (阮籍「詠懷」其一)

【現代語訳】夜中になっても寝付かれず 起き出して座り 琴をつまびく うすい帳に明るい月影が照らし さわやかな風が私の襟元を吹く 外の遠い野原では群れを離れた鴻が叫び声をあげ 北の林では群れ飛ぶ鳥たちが鳴いている あてどもなくさまよい歩いて何を見るのか 共に語るべき人は誰もいない 憂い悩み ひとり自分の心を苦しめるばかりだ

日	巳	丑	辰	未	申	酉
		1 旧10/8 戊午 上弦	2 旧10/9 己未	3 旧10/10 庚申 文化の日	4 旧10/11 辛酉	5 旧10/12 壬戌
6 旧10/13 癸亥	7 旧10/14 甲子 立冬	8 旧10/15 乙丑 満月	9 旧10/16 丙寅	10 旧10/17 丁卯	11 旧10/18 戊辰	12 旧10/19 己巳
13 旧10/20 庚午	14 旧10/21 辛未	15 旧10/22 壬申	16 旧10/23 癸酉 下弦	17 旧10/24 甲戌	18 旧10/25 乙亥	19 旧10/26 丙子
20 旧10/27 丁丑	21 旧10/28 戊寅	22 旧10/29 己卯 小雪	23 旧10/30 庚辰 勤労感謝の日	24 旧11/1 辛巳 新月	25 旧11/2 壬午	26 旧11/3 癸未
27 旧11/4 甲申	28 旧11/5 乙酉	29 旧11/6 丙戌	30 旧11/7 丁亥			

玉指弄嬌絃
 朱口發艷歌
 含羞未肯前
 恃愛如欲進



©立命館大学中国文学思想専攻 <http://www.ritsumeai.ac.jp/lt/c/>

愛を恃んで進まんと欲するが如きも 羞を含んで未だ肯(あ)へて前まず 朱口に艷歌を發し 玉指 嬌絃(きょうげん)を弄す (蕭衍「子夜歌」二首 其一)

【現代語訳】愛情を信じて進み出ようとするけれど はずかしくて踏み出すことができない 赤い口から艶っぽい歌をもらし 玉のような指でなまめかしく琴を弾く

☐	巳	丑	辰	未	申	酉
				1 旧11/8 戊子	2 旧11/9 己丑	3 旧11/10 庚寅
4 旧11/11 辛卯	5 旧11/12 壬辰	6 旧11/13 癸巳	7 旧11/14 甲午 大雪	8 旧11/15 乙未 満月	9 旧11/16 丙申	10 旧11/17 丁酉
11 旧11/18 戊戌	12 旧11/19 己亥	13 旧11/20 庚子	14 旧11/21 辛丑	15 旧11/22 壬寅	16 旧11/23 癸卯 下弦	17 旧11/24 甲辰
18 旧11/25 乙巳	19 旧11/26 丙午	20 旧11/27 丁未	21 旧11/28 戊申	22 旧11/29 己酉 冬至	23 旧12/1 庚戌 新月	24 旧12/2 辛亥
25 旧12/3 壬子	26 旧12/4 癸丑	27 旧12/5 甲寅	28 旧12/6 乙卯	29 旧12/7 丙辰	30 旧12/8 丁巳 上弦	31 旧12/9 戊午